

**2010年12月 石原社長
定例記者会見概要**

12月1日午後3時半から、石原社長による定例記者会見が、放送センター20階役員大会議室で開かれました。概要は以下のとおりです。

<2010年総括と2011年抱負>

創立60周年記念番組の『99年の愛～JAPANESE AMERICANS』が成功し、内容的にも数字以上に価値のある番組を放送できたと思っている。いろいろな方から大変高い評価をいただいたことも嬉しかった。また、『世界バレー女子』も日本チームの32年ぶりのメダルを獲得、大活躍で成功を収めてくれたので良かったと思う。

全体的には、前半は視聴率的にも営業的にも特にタイムが苦戦したが、後半は視聴率、営業状況ともに上向き始めたかなと思う。ここ1～2年はリーマンショックの後遺症で、各社とも経費の削減を余儀なくされ、いかに効率的に番組を制作していくかという厳しい競争が始まっている。現場の皆さんはコストコントロールを非常によくやり頑張ってくれているが、今後広告市況の伸びは、そうは期待できないと思っているので、来年度もメリハリの効いた形で番組を強化していきたいと思っている。

来年は創立60周年本番の年にあたるので、「最大よりも最良の放送局たれ」という創業の原点に立ち戻り、TBSらしい良質な番組を制作し、さらなる飛躍の年にしたいと思っている。

<編成関連>

下期の視聴率は第8週までで、ゴールデン、プライムとも二桁に乗っているが、これは60周年特別企画を固めた第5週と6週の好成績に支えられたもの。その後数字が低迷しているので、土台を支えるレギュラー番組の再強化が必要。現場に強化策をお願いしている所だ。

『99年の愛～JAPANESE AMERICANS』については、番組制作にご協力をいただいたアメリカ在住の方々からのご要望を受けて、英語字幕版を制作している。年明けにはシアトルとロサンゼルスで上映会を開く予定。番組の評判を聞いた日系アメリカ人の方々が楽しみにされていると聞いている。

<営業関連>

10月はネットタイム、ローカルタイム、スポットの3つ全てが前年実績を超える売上を記録した。タイムは、年末年始セールスが始まっているが、東京地区のスポットが12月までほぼ完売状態なので、今後タイムのほうに予算が回ってくることが予想される。スポットも10月の伸び率が110%を超え東京5局中トップとなった。11月は『世界バレー』と『99年の愛』の影響でスポットの伸び率は多少鈍るが、12月末までは東京地区の投下量は好調で枠もほぼ完売、第3四半期で108%程度の売上を見込んでいる。

1月についても スポットの好調は続くともみているが、1月から2月にかけては、本来需要が少ない時期なので、サカス広場との連動企画を活用して、シェアの回復を図りたいと考えている。

<事業関連>

60周年企画の映画「SPACE BATTLESHIP ヤマト」が本日公開となった。「日本人が初めて世界に挑む SF エンターテインメント」ということで、私も先日見たが、CG 技術は素晴らしく、木村拓哉さんのファンの方や、ヤマト世代の方々だけでなく、幅広い層の方々にお楽しみいただける映画に仕上がっていると思う。赤坂サカスでは全長 15mのヤマトのレプリカを展示しているが、日曜日にサカスで行われた「ヤマト公開記念イベント」には、木村拓哉さんも参加され、大勢のファンの熱気に包まれて大変盛り上がったと聞いている。2月には「あしたのジョー」が公開されるので、こちらにも期待している。

もうひとつの60周年企画「ゴッホ展」は大変好評で、本日、入場者数が40万人を超えた。11月21日(日)には、「ゴッホの大ファン」というサッカー日本代表のザッケローニ監督ご夫妻が鑑賞されたが、若い方にも足をお運びいただければと思っている。

赤坂 ACT シアターは昨日から始まった堀北真希さん、伊藤英明さん主演の舞台「ジャンヌ・ダルク」開演中に、2008年3月の開業以来100万人目の来場者をお迎えする見込みとなった。ACT シアターは、年間稼働率95%以上を続けており、東京で一番人気の劇場と位置づけられている。今後とも赤坂 BLITZ と共に TBS の文化発信を担って参りますので、皆様のご支援をお願いしたい。

<ラジオ関連> TBSR&C 加藤社長

10月の個人聴取率調査の結果、56期連続首位となり、支持いただいたリスナーに感謝したい。セットインユースは下げ止まったが、リスナー層拡大が引き続き課題だ。年末年始編成では、恒例番組に加え、12/24(金)『Kakiiin クリスマス SP』などを編成する。営業面では10月が2年連続で前年をクリアしたものの、スポットは先行き不透明だ。「SPACE BATTLESHIP ヤマト」公開にあわせ、ラジオでも支援していく。テレビからの提案で発売に至った『JUNK』DVD が好調で、テレビとの協業として意義深い。来年1月29日(土)からは第18期環境キャンペーンを実施する。本日、IP サイマルラジオ「radiko」の本配信が始まり、サービスエリアが関東全域となった。パソコン、スマートフォンなどで聴ける環境が整い、新規リスナー獲得に期待している。

以上